

2010年9月

1.新聞・テレビ等

該当無し

2.誌上発表(原著論文)

(生物薬品部)

- Hashii, N., Kawasaki, N., Itoh, S., Qin, Y., Fujita, N.*¹, Hattori, T.*¹, Miyata, K.*², Bando, A.*², Sekimoto, Y.*², Hama, T.*³, Kashimura, M.*³, Tatsumi, M.*⁴, Mabuchi, K.*⁵, Namekawa, H.*⁵, Sakai, T.*⁶, Hirose, M.*⁷, Dobashi, S.*⁷, Shimahashi, H.*⁸, Koyama, S.*⁹, Herr, S.O.*¹⁰, Kawai, K.*¹¹, Yoden, H.*¹¹, Yamaguchi, T.

*¹Pharmaceutical Research Laboratories, Ajinomoto Co., Ltd.;

*²Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.;*³Sanofi-aventis K.K.*⁴Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.*⁵Sawai Pharmaceutical Co., Ltd. Kanto Factory; *⁶Taiyo Pharmaceutical Industry Co., Ltd.; *⁷Terumo Co., Ltd.; *⁸Formulation Research Laboratory, Nippon Zoki

Pharmaceutical Co., Ltd. ;*⁹Mochida Pharmaceutical Plant Co., Ltd.

*¹⁰Pharmaceutical Product Support, LEO Pharma A/S 55;

*¹¹Research and Development Center, Fuso Pharmaceutical Industries, Ltd.

Heparin identification test and purity test for OSCS in heparin sodium and heparin calcium by weak anion-exchange

high-performance liquid chromatography (弱陰イオン交換-液体クロマトグラフィーによるヘパリンナトリウム及びヘパリンカルシウムの確認試験及び OSCS 純度試験)

Biologicals, **38**, 539-543 (2010)

(生薬部)

- 高橋美津子*, 桜井克巳*, 渡部健二郎*, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広
*横浜市衛生研究所

無承認無許可医薬品及び違法ドラッグのスクリーニング分析を指向した LC/MS ライブラリーの構築

医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス,**41**(9), 742-749 (2010)

(医療機器部)

- Ryusuke Nakaoka, Yoko Yamakoshi*, Kazuo Isama, Toshie Tsuchiya

* Department of Radiology and Department of Chemistry, University of Pennsylvania, USA

Effects of surface chemistry prepared by self-assembled monolayers on osteoblast behavior (自己組織化膜で調製した表面の化学特性が骨芽細胞挙動に与える影響)

J. Biomed. Mater. Res. Part A, **94A**, 524-532, 2010

(衛生微生物部)

- 宮原美知子、荒川英二*

*国立感染症研究所

市販二枚貝での腸炎ビブリオの季節変動

防菌防黴誌, **38**(8), 515-520 (2010)

- 田中廣行*¹、土屋 禎*¹、大島赴夫*²、鈴木達也*²、工藤由起子.

*¹(財)日本食品分析センター、*²(財)食品薬品安全センター
技能試験データに基づく細菌数の不確かさの推定.

- 日本食品微生物学会雑誌, **27**, 158-162, 2010.
- *1 森 哲也、*2 田中廣行、*1 和田真太郎、*1 伊藤 武、*2 宇田川藤江、工藤由起子。
*1 (財) 東京顕微鏡院、*2 (財) 日本食品分析センター
市販の生食用カット野菜, カット果実およびスプラウトの微生物汚染調査。
日本食品微生物学会雑誌, **27**, 163-170, 2010.
 - 大西貴弘
国産ミネラルウォーターのエンドトキシン濃度測定による水源およびその製造所における細菌汚染検出の試み
日本食品微生物学雑誌, **27**(3), 141-145 (2010)
 - Iibuchi, R.*, Hara-Kudo, Y., Hasegawa, A.* and Kumagai, S.*
*東京大学
Survival of *Salmonella* on a polypropylene surface under dry conditions in relation to biofilm-formation capability. (乾燥条件下でのポリプロピレン表面でのサルモネラの生残性とバイオフィーム形成能の関連について)
J. Food Prot. **73**, 1506-1510, 2010.
 - Matsukane, Y., Sato, H., Tanaka, S., Kamata, Y., Sugita-Konishi, Y.
***Kudoa septempunctata* n.sp.(Myxosporae:Multivalvulida) from an aquacultured olive flounder(*Paralichthys olivaceus*) imported from Korea**
Parasitol Res. **107**, 865-872, 2010.

(代謝生化学部)

- Nakamura, R., Uchida, Y., Higuchi, M., Nakamura, R., Tsuge, I.*, Urisu, A.*, Teshima, R.
*藤田保健衛生大学
A convenient and sensitive allergy test: IgE crosslinking-induced luciferase expression in cultured mast cells (IgE 架橋誘導性ルシフェラーゼ発現による簡便かつ高感度なアレルギー試験法)
Allergy, **65**(10), 1266-1273 (2010)
- Nakamura, K., Yamada, C.*1, Akiyama, H., Takabatake, R.*2, Kitagawa, M., Kitta, K.*2, Kawakami, H.*1, Teshima, R.
*1Department of Food Science & Nutrition, Kyoritsu Women's University, *2 National Food Research Institute
Evaluation of tomato DNA fragmentation and PCR amplicon size for detection of tomato DNA in processed products (トマト含有加工食品のトマト DNA の断片化及びトマト DNA 検出用 PCR 断片長の評価)
Jpn. J. Food Chem. Safety, **17**, 123-128 (2010)
- Harikai, N.,*1, Akiyama, H., Kondo, K., Kitta, K.*2, Teshima, R., Yoshida, Y.*1.
*1School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Mukogawa Women's University, *2 National Food Research Institute
A novel chromogenic method for determining the genetically modified soybean content in soybean powder with primer extension (プライマー伸長反応を利用した遺伝子組換え大豆の発色定量法)
Jpn. J. Food Chem. Safety, **17**, 110-115 (2010)

(病理部)

- Pitchakarn, P.*1,2, Ogawa, K., Suzuki, S.*1, Takahashi, S.*1, Asamoto, M.*1, Chewonarin, T.*2, Limtrakul, P.*2, Shirai, T.*1
*1 名市大・院・医・実験病態病理、*2 チェンマイ大学・院・医・生化学
***Momordica charantia* leaf extract suppresses rat prostate cancer**

progression *in vitro* and *in vivo* (ニガウリ葉抽出物は *in vivo* および *in vitro* においてラット前立腺癌のプログレッションを抑制する)
Cancer Sci. **101**, 2234-2240 (2010)

(変異遺伝部)

- Kimura, A*., Torigoe, N.* , Miyata A, H.* , Honma, M.
*新日本科学

Validation of a simple *in vitro* comet assay method using CHL cells
(CHL 細胞を用いた簡便なコメット試験のバリデーション)
Genes and Environment , **32**, 61-65 (2010)

- Yasui, M., Koyama, N.*¹, Koizumi, T., Senda-Murata, K.*²,
Takashima, Y.*³, Hayashi, M.*⁴, Sugimoto, K.*², Honma, M.
*¹ 静岡県立大学, *² 大阪府立大学, *³ 放線線医学総合研究所, *⁴ 食品農
医薬品安全性評価センター

Live cell imaging of micronucleus formation and development. (ライブセルイメージングによる小核の形成と運命)
Mutation Research , **692**, 12-18 (2010)

- Wong, J.H.Y.*¹, Brown, J.A.*², Suo, Z.*², Blum, P.*³, Nohmi, T., Ling,
H.*¹

*¹University of Western Ontario, *²The Ohio State University,
*³ University of Nebraska

Dynamic bypass of a major cisplatin-DNA adduct revealed in structural, kinetic and *in vivo* studies (構造, 速度論そして *in vivo* 研究から明らかになったシスプラチン主要 DNA 付加体の動的なバイパス)

EMBO J., **29**, 2059-2069 (2010)

3. 誌上発表(総説・解説等)

(生物薬品部)

- 新見伸吾、原島 瑞、日向昌司、川崎 ナナ
日本大学総合研究所
治療用タンパク質の免疫原性 その3
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス **41** (9) 726-735 (2010)

(食品衛生管理部)

- 五十君静信
微生物試験法の標準化と国際整合性
月刊フードケミカル, **2010**(8), 67-71 (2010)
- 野田 衛
食品媒介ウイルス性感染症の現況と対策
食と健康, **54**(9), 8-18 (2010)

4. 単行本

(食品衛生管理部)

- 五十君静信
最新版食品分析法の妥当性確認ハンドブック
サイエンスフォーラム, 東京 (2010) , pp. 233-241
微生物標準試験法の妥当性確認とそのベリフィケーションの考え方および実行方法について解説した。

5. 学会・講演等

(薬品部)

- 坂本知昭, 田邊匡生*, 山形 卓*, 小山 裕*, 川西 徹, 檜山行雄

*東北大学大学院

テラヘルツ波を用いた医薬品評価技術の開発に関する研究 IV.

拡散反射スペクトルによる粉末・造粒医薬品の解析

日本分析化学会第 59 年会 (2010.9) (仙台市)

- Sakamoto, T., Nakayama, K.*, Portieri, A.*², Arnone, D.D.*², Taday, P.F.*², Sasakura, D.*³, Kawanishi, T., and Hiyama, Y.

*Towa Pharmaceuticals, *²TeraView, *³Bruker Optics

Vibrational terahertz spectroscopic analysis of ingredients in granules and tablets by three tablet production processes (異なる製錠プロセスで製した造粒物及び錠剤中成分のテラヘルツ振動分光学的解析)

35th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves (2010.9) (Roma, Italy)

(生物薬品部)

- 原園 景

「糖タンパク質医薬品の糖鎖解析について」

GLIT セミナー in JAIMA コンファレンス 「糖鎖規格によるバイオ医薬品の行方」 千葉市 (幕張メッセ) (2010.9)

(生薬部)

- 袴塚高志, 勢 康代, 水沼周子, 鄭 美和, 合田幸広

新規漢方処方品質規格に関する基礎的検討(11) ウェルシュ菌の増殖に影響を及ぼす漢方処方

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 杉村康司*¹, 飯田 修*¹, 川原信夫*², 緒方 潤, 丸山卓郎, 花尻瑠理, 合田幸広

*¹ 医薬基盤研・薬植セ・種子島, *² 医薬基盤研・薬植セ

違法ドラッグ関連植物クサヨシに見られる外部形態の変異と成分ならびに遺伝子情報との関係

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 若菜大悟, 丸山卓郎, 山本 豊*, 合田幸広

*株式会社栃本天海堂

メタボローム解析による半夏, 天南星の判別

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 荒井 崇*¹, 荘司智和*¹, Alfarius Eko Nugroho*¹, 出口 潤*¹, 細谷孝博*¹, 平澤祐介*¹, 森田博史*¹, 内山奈穂子, 合田幸広, Khalijah Awang*², A. Hamid A. Hadi*², 城始 勇*³

*¹ 星薬大, *² マラヤ大・理, *³ リガク

Leuconotis griffithii より単離した新規インドールアルカロイドの構造に関する研究

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 中田麻美*¹, 細谷孝博*¹, 森田博史*¹, 川崎洋子*¹, 合田幸広

*¹ 星薬大

アカネ科 *Rubia tinctorum* に含有する iNOS 阻害活性成分に関する研究

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 木内文之*¹, 成川佑次*¹, 合田幸広, 石崎昌洋*², 糸 博之*³, 川崎武志*⁴, 川原信夫*⁵, 神本敏弘*⁶, 菊地祐一*⁶, 近藤誠三*⁷, 杉本智潮*⁸, 日向野太郎*⁹, 山本 豊*¹⁰

*¹ 慶應大薬, *² 三和生薬, *³ 和光純薬, *⁴ ウチダ和漢薬, *⁵ 基盤研薬植セ, *⁶ ツムラ, *⁷ 小太郎漢方製薬, *⁸ 救心製薬, 大正製薬, *¹⁰ 栃本天海堂

日本薬局方収載の TLC による生薬の確認試験 (1) 1-ブタノール/水/酢酸 (100) 混液を展開溶媒とする確認試験について

日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)

- 何敬愉*1, 朱 殊*1, 小松かつ子*1, 合田幸広
*1 富山大・和漢研
党参の基原と品質に関する研究(2) — *Codonopsis* 属植物及び党参の ITS 領域の塩基配列
日本生薬学会第 57 回年会 (2010.9) (徳島市)
- 合田幸広
生薬・漢方分野における日本薬局方の改正について
日本漢方生薬製剤協会行政・学術講演会
東京薬事協会 (2010.9) (東京)
- 合田幸広
食薬区分と違法ドラッグ
漢方薬・生薬認定薬剤師研修会、慶應義塾大学薬学部 (2010.9) (東京都港区)

(遺伝子細胞医薬部)

- 鈴木孝昌 降旗千恵
Proteome analysis for urinary biomarkers specific to genotoxic hepatocarcinogens
第 69 回日本癌学会学術総会大会 (2010.9) (大阪市)

(医療機器部)

- 松岡厚子
不溶性粒子の粒子径依存的細胞毒性発現
第 83 回人工関節の機能高度化研究会 (2010.9) (愛知県岡山市)
- 迫田秀行, 松岡厚子
高度架橋超高分子量ポリエチレンの疲労特性評価
日本機械学会 2010 年度年次大会 (2010.9) (名古屋)
- 植松美幸, 中野喜隆*1, 許 家群*1, 坂本 怜*2, 梅津光生*1,*2, 青見茂之*3, 中村亮一*4, 鈴木孝司*5, 村垣善浩*5, 伊関 洋*5
*1 早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻, *2 早稲田大学理工学部機械工学科, *3 東京女子医科大学心臓血管外科, *4 千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻, *5 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野
目標血管位置の特定のための皮下組織厚の影響縮小による位置決め誤差の削減
生体医工学シンポジウム 2010 (2010.9) (札幌)
- 植松美幸, 坂本 怜*1, 許 家群*2, 市橋琢弥*3, 梅津光生*4, 青見茂之*5, 中村亮一*6, 鈴木孝司*7, 村垣善浩*7, 伊関 洋*7
*1 早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻, *2 早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻, *3 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科, *4 早稲田大学理工学術院, *5 東京女子医科大学心臓血管外科, *6 千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻, *7 東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科学分野
体表面レジストレーションの導入による手術ナビゲーションシステム運用の改善
生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 (2010.9) (大阪府豊中市)
- 松岡厚子
医療機器の生物学的安全性試験と GLP
第 16 回 GLP 研修会
2010 年 9 月 東京都港区、 2010 年 9 月 大阪市

(生活衛生化学部)

- 伊佐間和郎、河上強志、土屋利江*、松岡厚子
*大阪大学医学部附属病院
カルシウム導入したチタン合金等のアパタイト形成能と細胞毒性
日本金属学会 2010 年秋期大会、2010.9、札幌市
- 西村哲治, 清水久美子, 久保田領志, 田原麻衣子, 小濱とも子, 杉本直

樹, 佐野友春*¹, 高木博夫*¹, 西川雅高*¹

*¹国立環境研究所

ミクロスティン同族体の肝細胞毒性

第16回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会合同研究発表会,
2010.9, 茨城県つくば市

- 村上和仁*¹, 小川かおる*², 斎藤利晃*³, 西村哲治
*¹千葉工業大学*²千葉県環境研究センター*³日本大学
大学における水環境健全性指標を活用した環境実習教育
第13回日本水環境学会シンポジウム, 2010.09, 京都市
- 坂本義光*¹, 中江大*¹, 佐藤かな子*¹, 西村哲治, 広瀬明彦, 小縣昭夫*¹
*¹東京都健康安全研究センター
ラットにおける多層カーボンナノチューブ (MWCNT) による中皮腫の誘発の用量相関性と血清 ERC/mesothelin レベルの増加
第69回日本癌学会学術総会, 2010.9, 大阪市
- 神野透人, 香川(田中)聡子, 古川容子, 西村哲治,
計算化学による半揮発性有機化合物の室内環境動態予測に関する研究
フォーラム 2010: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2010.9) (東京都品川区)
- 大河原晋*, 香川(田中)聡子, 古川容子, 西村哲治, 神野透人
*武蔵野大学
ナフトキノン及びフェナントラキノンによる侵害受容器 TRP イオンチャンネルの活性化
フォーラム 2010: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2010.9) (東京都品川区)
- 香川(田中)聡子, 大河原晋*¹, 古川容子, 埴岡伸光*², 西村哲治, 成松鎮雄*², 神野透人
*¹武蔵野大学,*²岡山大学大学院
リン酸エステル系可塑剤・難燃剤の TRP イオンチャンネルに対する影響
フォーラム 2010: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2010.9) (東京都品川区)
- 高原佑輔*, 埴岡伸光*, 香川(田中)聡子, 神野透人, 成松鎮雄*
*岡山大学大学院
フタル酸ジエステル類のヒト肝ミクロゾームにおける加水分解反応
フォーラム 2010: 衛生薬学・環境トキシコロジー(2010.9) (東京都品川区)
- Uchino, T., Takezawa T.*, Ikarashi, Y., Nishimura, T.
*National Institute of Agrobiological Sciences
Development of in vitro skin sensitization test using three-dimensional human skin model consisting of dendritic cells, keratinocytes and fibroblasts on collagen vitrigel membrane (樹状細胞を含み、コラーゲンビトリゲル薄膜を培養担体とした3次元培養ヒト皮膚モデルを用いた動物実験代替法について)
13th Annual Congress of European Society for Alternatives to Animal Testing, (2010.9) (Linz, Austria)
- Isama, K., Kawakami, T., Tsuchiya, T.*, Matsuoka, A.
*Osaka University Hospital
Apatite-Forming Ability of Calcium-Incorporated Ti-Zr-Nb Alloys
(カルシウム導入した Ti-Zr-Nb 合金のアパタイト形成能)
23rd European Conference on Biomaterials, 2010.9, Tampere, Finland
- Kawakami T., Isama K., Nakashima H.*, Tsuchiya T., Matsuoka A.
*Osaka Prefectural Institute of Public Health
Determination of carcinogenic primary aromatic amines originated

from azo dyes in commercial textile products in Japan (日本に流通する繊維製品中に含有するアゾ染料由来の芳香族アミン類の分析)
30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2010). (2010.9) (San Antonio, USA.)

- Kawakami T., Isama K., Matsuoka A.

Phthalic acid diesters and monoesters in household products in Japan. (日本に流通する家庭用品中のフタル酸ジエステル類およびモノエステル類の実態)

30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2010). (2010.9) (San Antonio, USA.)

- Nishimura, T., Suzuki, T.*¹

*¹Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

Concentration of perfluorinated compounds in river water in Japan. (日本の河川水中のパーフルオロ化合物の濃度)

30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2010). (2010.9) (San Antonio, USA.)

- 杉本直樹

定量 NMR の食品分析への応用

(社)日本分析化学会, (社)日本分析機器工業会主催 東京コンファレンス 2010 (2010.9)(千葉市)

(食品部)

- 廣庭隆行^{1*}、岡野和史^{2*}、原 英之^{3*}、増水章季^{4*}、宮原 誠^{1*} (株)コーガアイソトープ、^{2*}日本電子、^{3*}ブルカー・バイオスピ、^{4*}日本レドックス (元崇城大学)

食品への放射線照射検知に用いるセルロースラジカルの経時変化

日本防菌防黴学会第 37 回年次大会(2010.9)(東京都品川区)

- 渡邊敬浩, 塚越芳樹*, 松田りえ子

*(独)農研機構食品総合研究所

サンプリングに起因する生鮮野菜ロット平均値の不確かさ推定

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 堤 智昭, 石井利華, 高附 巧, 渡邊敬浩, 松田りえ子

食用油等に含まれるグリシドール脂肪酸エステル類の分析

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 坂井隆敏, 根本 了, 松田りえ子

牛乳中のヒドロコルチゾン含有量実態調査

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 齊藤静夏, 坂井隆敏, 根本 了, 松田りえ子

GPC 精製を用いた農産物中のインダンジオン系及びクマリン系殺鼠剤の分析法の検討

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 上野英二*, 大野春香*, 渡辺美奈恵*, 大島晴美*, 三上栄一*, 根本 了, 松田りえ子

* 愛知県衛生研究所

デュアルカラム GC-MS/MS による畜水産食品中残留農薬の多成分分析

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 高橋邦彦*, 松本隆二*, 根本 了, 松田りえ子

* 埼玉県衛生研究所

LC-MS による農産物中のジノセブ及びジノテルブの分析

日本食品衛生学会第 100 回学術講演会, 平成 22 年 9 月, 熊本市

- 天倉吉章*¹, 好村守生*¹, 吉田隆志*¹, 堤 智昭, 松田りえ子, 中村昌文*², 半田洋士*²

*¹ 松山大学, *² (株)日吉

生薬主要成分の AhR 結合活性

日本生薬学会第57回年会・第5回日中韓生薬学合同シンポジウム，平成22年9月，徳島市

- Tsutsumi T, Amakura Y, Yanagi T^{*1}, Fukuzawa E^{*1}, Kono Y^{*1}, Nakamura M^{*1}, Nomura T^{*1}, Toyoda M^{*2}, Maitani T^{*3}, Sasaki K, Watanabe T, Matsuda R

^{*1} 日本食品分析センター，^{*2} 実践女子大学，^{*3} 静岡県立大学

DIOXINS IN FISH AND SHELLFISH: CONCENTRATIONS AND INTAKE IN JAPAN (魚介中のダイオキシン類：濃度と日本における摂取量)

30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2010.9, San Antonio, TX, USA

(食品添加物部)

- 多田敦子，高橋加奈，杉本直樹，石附京子，末松孝子*，有福和紀*，西村哲治，山崎 壮，河村葉子

* 日本電子株式会社

ステビオシドおよびレバウジオシドA標準品のNMRによる純度測定法の検討

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9) (熊本市)

- 多田敦子，石附京子，岩村淳一^{*1}，三上博久^{*2}，平尾美子^{*2}，岡 順子^{*3}，楠本美紀^{*3}，山名未早希^{*4}，藤田 功^{*5}，山崎 壮，河村葉子

^{*1} 近畿大学，^{*2} (株)島津製作所，^{*3} 和光純薬工業(株)，^{*4} (株)創造科学研究所，^{*5} 守田化学工業(株)

ステビオール配糖体9種の分析法の検討

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9) (熊本市)

- 伊藤裕才，大井理江，山崎 壮，河村葉子

既存添加物チャ抽出物中のカテキン類定量法の検討

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9) (熊本市)

- 平原嘉親，山口未来，六鹿元雄，阿部 裕，河村葉子

ポリスチレン製品中の揮発性物質の残存とその食品への移行

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9) (熊本市)

- 六鹿元雄，平原嘉親，河村葉子

洗浄剤規格におけるヒ素，重金属およびメタノール試験法の改良

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9) (熊本市)

- 河村葉子

器具・容器包装及び玩具の規格基準について

東京都食品技術講習会，都民ホール，東京都新宿区(2010.9)

- Kawamura, Y.

Food Contact Regulations in Japan (日本における器具・容器包装の規制)

FOOD CONTACT 2010, Alexandria, VA, USA (2010.9)

(食品衛生管理部)

- 鈴木穂高

下痢性貝毒オカダ酸投与後に見られるマウスの急激な体温低下

第150回日本獣医学会(2010.9) (帯広市)

- 岡田由美子，大貫泉美*，五十君静信

* 栃木県南食肉衛生検査所

Listeria monocytogenes の国内流通食品からの分離状況と低温保存食品中での消長

第150回日本獣医学会総会(2010.9) (帯広市)

- 門田修子，岡田由美子，五十君静信，山本茂貴

食品から分離されたリステリア菌株の分子疫学的解析

第100回日本食品衛生学会総会(2010.9) (熊本市)

(衛生微生物部)

- 門田智之*1、竹澤陽子*1、平野 哲*1、田嶋修*1、Chris Maragos*2、中島隆*3、田中敏嗣*4、鎌田洋一、小西良子
*1キリンホールディングス㈱、*2USDA-ARS-NCAUR、*3九州沖縄農業研究センター、*4神戸市環境保健研究所
SPRによるニバレノール、デオキシニバレノール分別検出法の検討
日本マイコトキシン学会第68回学術講演会 (2010.9) (茨城県つくば市)
- 佐久間久子、伊藤有加里*1、小林政人*1、渡辺 康、杉山圭一、鎌田洋一、小西良子
*1(財)食品分析開発センターSUNATEC
木の実中の総アフラトキシンの迅速法キットの検討
日本マイコトキシン学会第68回学術講演会 (2010.9) (茨城県つくば市)
- 門田智之*1、木村 真*2、平野 哲*1、田嶋 修*1、中島 隆*3、鎌田洋一、小西良子
*1キリンホールディングス㈱、*2(独)理化学研究所、*3(独)農研機構 九州沖縄農業研究センター、
LC/MS/MSを用いた小麦中のトリコテセン系マイコトキシン(タイプB)及びその前駆体・代謝産物の同時分析
第100回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)
- 青山幸二*1、甲斐茂美*2、小木曾基樹*3、高橋正紀*4、山口茂明*5、田中敏嗣*6、熊谷 進*7、小西良子
*1(独)農林水産消費安全技術センター、*2神奈川県衛生研究所、*3(財)日本食品分析センター、*4(社)全日検、*5(財)日本冷凍食品検査協会、*6神戸市環境保健研究所、*7東京大学
日本に流通する食品中のフモニシンを対象とした6年間のサーベイランス
第100回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)
- 青山幸二*1、甲斐茂美*2、小木曾基樹*3、高橋正紀*4、山口茂明*5、田中敏嗣*6、熊谷 進*7、小西良子
*1(独)農林水産消費安全技術センター、*2神奈川県衛生研究所、*3(財)日本食品分析センター、*4(社)全日検、*5(財)日本冷凍食品検査協会、*6神戸市環境保健研究所、*7東京大学
日本に流通する食品中のフモニシンを対象とした6年間のサーベイランス
第100回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)
- 中島正博*1、永山敏廣*2、石黒瑛一*3、内藤成弘*4、堀江正一*5、大西貴弘、鎌田洋一、小西良子、田中敏嗣*6
*1名古屋市衛生研究所、*2東京都健康安全研究センター、*3(財)日本食品分析センター、*4(独)農研機構・食品総合研究所、*5大妻女子大学、*6神戸市環境保健研究所
アフラトキシンM1試験法の妥当性評価
第100回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)
- 法月廣子*1、中島正博*2、田端節子*3、青山幸二*4、和田丈晴*5、菊川浩二*6、伊藤嘉典*7、石黒瑛一*8、田中敏嗣*9、熊谷 進*10、小西良子
*1(財)日本穀物検定協会、*2名古屋市衛生研究所、*3東京都健康安全研究センター、*4(独)農林水産消費安全技術センター、*5(財)化学物質評価研究機構、*6(財)食品分析開発センター、*7前国立医薬品食品衛生研究所、*8(財)日本食品分析センター、*9神戸市環境保健研究所、*10東京大学
日本に流通する食品中のオクラトキシンAを対象とした6年間のサーベイランス
第100回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)
- 神田 隆*1、金澤裕司*2、小澤一弘*3、後藤慶一*4、大西貴弘、小沼博隆*5、杉山寛治*1、工藤由起子

*1 静岡県環境衛生科学研究所, *2 静岡市環境保健研究所, *3 中部衛生検査センター, *4 三井農林, *5 東海大学

清涼飲料水の開封・口のみでの汚染物質の挙動解析

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)

- 渡辺麻衣子, 堤 史行*1, 小沼ルミ*2, 李 謙一*3, 瓦田研介*2, 小西良子, 熊谷 進*3, 高鳥浩介*4, 小沼博隆*1, 工藤由起子
*1 東海大学海洋学部, *2 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター, *3 東京大学大学院農学生命科学研究科, *4 NPO 法人カビ相談センター

市販国産果実における真菌叢の解析

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)

- 小沼ルミ*1, 渡辺麻衣子, 工藤由起子, 小西良子, 高鳥浩介*2, 一戸正勝*3, 瓦田研介*1
*1 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター, *2 NPO 法人カビ相談センター, *3 東京家政大学家政学部

炭素源資化性分析を用いた糸状菌同定の検討

日本防菌防黴学会第 37 回年次大会(2010.9)(東京都品川区)

- 水谷紀子, 菅野慎二*1, 重茂克彦*2, 品川邦汎*2, 小西良子, 鎌田洋一
*1 東洋製罐(株) *2 岩手大学農学部

IgY 抗体を用いてのブドウ球菌エンテロトキシンの ELISA による定量法の開発

日本防菌防黴学会第 37 回年次大会(2010.9)(東京都品川区)

- 門田智之*1, 木村 真*2, 平野 哲*1, 田嶋 修*1, 中島 隆*3, 鎌田洋一, 小西良子
*1 キリンホールディングス(株) *2(独)理化学研究所, *3(独)農研機構九州沖縄農業研究センター

LC/MS/MS を用いた小麦中のトリコテセン系マイコトキシン (タイプ B) 及びその前駆体・代謝産物の同時分析

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)

- Nemoto, J.*1, Ohshima, A.*1, Arita, J.*1, Kojima, T.*1, Ikedo, M.*1, Kamio, A.*2, Konuma, H.*2, and Hara-Kudo, Y.
*1 栄研化学 (株)、*2 東海大学

Rapid and sensitive detection of *Vibrio parahaemolyticus* by a loop-mediated isothermal amplification assay. (LAMP 法による腸炎ビブリオの迅速・高感度な検出)

International Association of Food Protection 2010, August 1-4, Anaheim, CA, USA. 2010.

- 小西良子

健康危機管理と食品衛生-カビ毒・トキシンの立場から-

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会、熊本市、2010.9

(有機化学部)

- Demizu, Y., Doi, M.*1, Sato, Y., Tanaka, M.*2, Okuda, H., Kurihara, M.
*1 大阪薬大, *2 長崎大医歯薬

Structural control of diastereomeric Leu-Leu-Aib-Leu-Leu-Aib sequences (ジアステレオメリック Leu-Leu-Aib-Leu-Leu-Aib ペプチドによる二次構造制御)

31st European Peptide Symposium, (2010.9)(Copenhagen, Denmark)

- Kurihara, M., Demizu, Y., Sato, Y., Yamagata, N., Okuda, H., Nagano, M.*1, Doi, M.*2, Tanaka, M.*3, Suemune, H.*1
*1 九大薬, *2 大阪薬大, *3 長崎大医歯薬

Computational study on helical structure of alpha, alpha-disubstituted oligopeptides containing chiral alpha-amino acids(キラル α -アミノ酸含有ヘリカルペプチドの計算化学による構造

予測)

31st European Peptide Symposium, (2010.9)(Copenhagen, Denmark)

- Tanaka, M.*¹, Nagano, M.*², Doi, M.*³, Kurihara, M., Suemune, H.*²

*¹長崎大医歯薬, *²九大薬, *³大阪薬大

Cyclic amino acid-containing alpha-helical peptide-catalyzed enantioselective epoxidation reaction (環状アミノ酸含有 α -ヘリカルペプチド触媒によるエナンチオ選択的エポキシ化反応)

31st European Peptide Symposium, (2010.9)(Copenhagen, Denmark)

(機能生化学部)

- 大岡伸通, 内藤幹彦

Molecular analysis of regulatory mechanism of TNF α -inducible apoptosis increased by depletion of cIAP1 expression

第 69 回 日本癌学会学術総会 (2010.9) (大阪市)

- Okuhira, K., Ohoka, N., Nishimaki-Mogami, T., Ito, Y.*, Ishikawa, M.*, Hashimoto, Y.*, Naito, M.

*東京大学 分子生物学研究所

CRABP degradation based on a protein knockdown strategy

第 69 回日本癌学会 (2010.9)(大阪市)

(代謝生化学部)

- 手島玲子、中村亮介

発達期曝露による臭素化難燃剤等の免疫影響について

第 17 回日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) (茨城県つくば市)

- 新藤智子*、香取輝美*、金沢由基子*、大沢基保*、小島幸一*、手島玲子* 食品薬品安全センター 秦野研究所

マウスの経口食物アレルギーモデルの発症機序：腸管リンパ組織の T 細胞サブポピュレーションの解析

第 17 回日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) (茨城県つくば市)

- 香取輝美*、新藤智子*、大沢基保*、小島幸一*、手島玲子

*食品薬品安全センター 秦野研究所

食物アレルギー性の *in vitro* 評価系の開発 (2) *In vitro* 消化蛋白質の評価

第 17 回日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) (茨城県つくば市)

- 中村亮介, 樋口雅一, 中村里香, 近藤康人*, 宇理須厚雄*, 手島玲子

*藤田保健衛生大学

EXiLE 法を用いたアレルギー交差反応性の解析

第 17 回日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) (茨城県つくば市)

- 中島 治, 中村里香, 穂山 浩, 手島玲子

組換えトウモロコシに導入された Cry タンパクの発現、精製および抗体との反応性について

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)

- 穂山 浩、松岡英樹、坂田こずえ、中村里香、高橋慎吾*¹、稲熊隆博*¹、戸塚 護*²、手島玲子

*¹カゴメ株式会社総合研究所 *²東京大学大学院農学生命化学研究科

β -カロテン強化摂取の経口感作阻害と腸管粘膜免疫系への影響

第 17 回日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) (茨城県つくば市)

- 笠間菊子*、小熊恭代*、鈴木達也*、穂山 浩、大島赴夫*、小島幸一*

* (財) 食品薬品安全センター

特定原材料検査に関する外部精度管理の実施に向けた検討

第 100 回日本食品衛生学会学術講演会 (2010.9) (熊本市)

- 澤上一美*¹、杉浦水香*¹、小見川郁子*¹、國信康弘*¹、依田真一*¹、東條百合子*¹、小飯塚道典*¹、田島秀二*¹、穂山 浩、手島玲子、齋藤桂吾*²、村上明一*²、丹野和信*³、東 隆親*²

*¹プレシジョン・システム・サイエンス(株)、*²東京理科大学、*³(株)抗体

工学研究センター

特定原材料等の新規同時多項目検査法の開発について

—えび・かに検出への応用—

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9)(熊本市)

- 真野潤一^{*1}、谷中有香^{*1}、池津陽子^{*1}、大西真理^{*2}、布藤 聡^{*2}、穂山 浩、手島玲子、日野明寛^{*1}、高島令玉奈^{*1}、古井 聡^{*1}、橘田和美^{*1}
^{*1}(独)農研機構 食品総合研究所、^{*2}株式会社ファスマック

スタック品種の混入に影響を受けない遺伝子組換えトウモロコシ混入率評価手法グループテストの性能確認

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9)(熊本市)

- 大森清美^{*1}、中村公亮、穂山 浩、濱岡志津子、牧山太樹、坂田こずえ、笠原正輝^{*2}、橘田和美^{*3}、岸 弘子^{*1}、藤巻照久^{*1}、手島玲子
^{*1}神奈川県衛生研究所、^{*2}(独)農林水産消費安全技術センター、^{*3}(独)農研機構 食品総合研究所

加工食品からのパパイアDNA抽出精製法の検討

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9)(熊本市)

- 中村公亮、穂山 浩、大森清美^{*1}、濱岡志津子、牧山太樹、坂田こずえ、笠原正輝^{*2}、橘田和美^{*3}、手島玲子
^{*1}神奈川県衛生研究所、^{*2}(独)農林水産消費安全技術センター、^{*3}(独)農研機構 食品総合研究所

ハワイ産遺伝子組換えパパイア55-1系統の特異的検知法の開発について

第100回日本食品衛生学会学術講演会(2010.9)(熊本市)

- Mano, J.^{*1}, Shigemitsu, N.^{*1}, Ikezu, Y.^{*1}, Yanaka, Y.^{*1}, Hatano, S.^{*2}, Futo, S.^{*2}, Minegishi, Y.^{*3}, Akiyama, H., Teshima, R., Takabatake, R.^{*1}, Furui, S.^{*1}, i Kitta, K.^{*1}
^{*1}(独)農研機構 食品総合研究所、^{*2}(株)ファスマック、^{*3}(株)ニッポンジーン

In-house validation of component reactions on the real-time PCR array for comprehensive GMO analysis

(網羅的GMO検知のためのリアルタイムPCRアレイでの組み合わせ反応の室内バリデーション)

AOAC 124th Annual Meeting (2010.9) (Orlando, FL, USA)

- Kodama, T.^{*1}, Kasahara, M.^{*1}, Minegishi, Y.^{*2}, Futo, S.^{*3}, Sawada, C.^{*4}, Watai, M.^{*5}, Akiyama, H., Teshima, R., Kurosawa, Y.^{*5}, Furui, S.^{*1}, Hino, A.^{*5}, Kitta, K.^{*5}
^{*1}(独)農林水産消費安全技術センター^{*2}(株)ニッポンジーン、^{*3}(株)ファスマック、^{*4}(財)日本冷凍食品検査協会、^{*5}(独)農研機構 食品総合研究所、(社)日本食品分析センター

Interlaboratory Study of Qualitative PCR Method for Roundup Ready Soybean

(ラウンドアップレディー大豆の定性検知法の多機関バリデーション)

AOAC 124th Annual Meeting (2010.9) (Orlando, FL, USA)

- Ito, K.^{*}, Yamamoto, T.^{*}, Doi, H.^{*}, Shoji, M.^{*}, Kato, M.^{*}, Akiyama, H., Adachi, R.
^{*}(株)森永生科学研究所

Novel ELISA for determine food allergen in processed food

(加工食品中食物アレルギー分析の新規ELISA法)

AOAC 124th Annual Meeting (2010.9) (Orlando, FL, USA)

- 安達玲子
アレルギー食品の表示制度と通知検査法／「えび・かに」の実態調査
第100回日本食品衛生学会学術講演会技術研修会、熊本市(熊本県立大学)(2010.9)

(医薬安全科学部)

- 斎藤嘉朗
薬剤応答予測プロジェクトと創薬研究
第20回日本臨床精神神経薬理学会・第40回日本神経精神薬理学会 シンポジウム (2010.9) (仙台市)
- Masahiro Tohkin
Activities and Outcomes of Study Group on Ethnic Factors in Clinical Data from East Asian Populations
(東アジア民族の臨床データに関する民族的要因に関する研究班の活動と成果)
2010 Multi-Regional Clinical Trials, SEP 13 - 15 (2010), Seoul, Korea
- Maekawa, K., Harakawa, N., Yoshimura, T.*, Kim, S.R., Fujimura Y.*, Aohara, F.*, Sai, K., Katori N., Tohkin, M., Okuda, H., Sawada, J., Niwa, T.*, Saito, Y.
* 田辺三菱製薬(株)
CYP3A4*16 and CYP3A4*18 alleles found in east Asians exhibit differential catalytic activities for seven CYP3A4 substrate drugs
(東アジア人で見出される CYP3A4*16 及び CYP3A4*18 の基質依存性の活性変化)
9th International Meeting of the ISSX (2010.9) (Istanbul, Turkey)

(毒性部)

- 菅野 純、相崎健一、北嶋 聡
Percellome トキシコゲノミクスの抗がん剤研究への応用
第69回日本癌学会学術総会(2010.9) (大阪市)
- 平林容子、五十嵐勝秀、菅野 純
白血病誘発線量の放射線によって引き起こされるストカスティックな発現遺伝子プロファイリング
第69回日本癌学会総会, (2010.9), 大阪市
- 平林容子, 尹 秉一, 壺井 功, 関田清司, 菅野 純, 藤井義明*1, 相澤 信*2, 井上 達
*1 東京大学分生研; *2 日本大学医学部
ネオプテリンのマウス赤芽球系造血に対する効果
第72回日本血液学会総会, (2010.9), 横浜市
- 平林幸生*, 壺井 功, 原田智紀*, 平林容子, 菅野 純, 井上 達, 八田義弘*, 竹内 仁*, 相澤 信*
* 日本大学医学部
芳香族炭化水素受容体(AhR)を介したベンゼンの造血幹・前駆細胞特異的な造血障害発現機構
第72回日本血液学会総会, (2010.9), 横浜市

(薬理部)

- 佐藤 薫, 重本-最上 由香里, 大野 泰雄, 関野 祐子
生後初期 subventricular zone におけるミクログリアの役割
Neuro2010 (2010.9) (神戸市)
- 高橋華奈子, 中澤憲一, 野澤-石井 玲子*, 竹内幸一*, 関野祐子, 佐藤 薫
*明治薬科大学
ナイフルミック酸によるアストロサイトグルタミン酸トランスポーター EAAT1 電流調節機構の解明
Neuro2010 (2010.9) (神戸市)
- 小島 肇
皮膚感作性試験のインビトロ代替法の現状
日本免疫毒性学会学術大会 (2010.9) 独立行政法人国立環境研究所大山記念ホール (つくば市, 茨城県)
- Kojima, H., Arai, S.*, Hojyo, M.

*Food and Drug Safety Center, Hatano Research Institute
Importance of each human model and the optimal protocol for regulatory use of skin irritation assay (皮膚刺激性試験の行政上の利用のための、ヒトモデルおよび適切なプロトコルの重要性)
The 23rd Annual and International Meeting of the Japanese Association for Animal Cell Technology (2010, 9) (Sapporo)

(病理部)

- Mi-Hee, Yu.*¹, In-Gyeong, Chae.*¹, Hyo-Gwon, Im.*^{1,2}, Akiyoshi, Nishikawa., In-Seon, Lee.*¹
*¹Department of Food Science and Technology, Keimyung University, Daegu, *²Daegu Technopark Bio Industry Center, Daegu, Korea
Suppression of PMA-induced MMP-9 expression in hepatocarcinoma cells by Capillarisin through inhibition of MAPK pathway (肝がん細胞における PMA 誘発 MMP-9 発現の Capillarisin による MAPK 経路を介する抑制)
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 梅村隆志, 金 美蘭, 鈴木裕太, 日比大介, 井上知紀, 石井雄二, 児玉幸夫, 能美健彦, 西川秋佳
gpt delta マウスを用いた包括的毒性試験法による 1-メチルナフタレインの *in vivo* 遺伝毒性の検索
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 石井雄二, 鈴木裕太, 日比大介, 金 美蘭, 児玉幸夫, 能美健彦, 梅村隆志, 西川秋佳
アクリルアミドの *in vivo* 突然変異誘発性における酸化的 DNA 損傷の関与
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 金 美蘭, 鈴木裕太, 日比大介, 井上知紀, 石井雄二, 能美健彦, 梅村隆志, 西川秋佳
サフロール投与 F344 gpt delta ラット肝における遺伝毒性と酸化的 DNA 損傷の検索
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 鈴木裕太, 日比大介, 石井雄二, 金 美蘭, 梅村隆志, 能美健彦, 西川秋佳
食品中の CYP1A2 誘導剤による IQ の変異原性および発がん性の修飾効果
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 日比大介, 鈴木裕太, 金 美蘭, 石井雄二, 能美健彦, 梅村隆志, 西川秋佳
Furan 肝がん誘発機序における遺伝毒性メカニズムの関与
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 井上 薫, 吉田 緑, 坂本洋平, 高橋美和, 武田賢和, 林 清吾, 小澤正吾*, 西川秋佳
*岩手医大・薬学部
化学物質の肝がん過程における細胞増殖関連因子と Constitutive androstane receptor (CAR) の関連性について
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 坂本洋平, 吉田 緑, 井上 薫, 高橋美和, 武田賢和, 小澤正吾*, 西川秋佳
*岩手医大・薬学部
マウスの化学物質誘発性肝発癌過程における Constitutive Androstane Receptor (CAR) の役割
第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)
- 渋谷 淳*, 水上さやか*, 市村亮平*, 剣持 明*, 谷合枝里子*, 嶋本敬介*, 大石 巧*, 高橋美和, 三森国敏*

*東京農工大・獣医病理

ラット肝発がん促進によって誘導された GST-P 陽性増殖性病変における
トランスフェリン受容体とセルロプラスミンの発現変動

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 小川久美子, ピッツアガーヌ ポーンシリ*¹, 鈴木周五*¹, 西川秋佳,
白井智之*¹

*¹名市大・院・医・実験病態病理

Connexin 43 siRNA 導入によるラット肝細胞癌細胞株転移・浸潤能の抑制

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- ポーンシリ ピッチャカーヌ*¹, 鈴木周五*¹, 小川久美子, 高橋智*¹,
佐藤慎哉*¹, リムトラクル ポーンガーム*², 白井智之*¹

*¹名市大・院・医・実験病態病理, *²チェンマイ大学・院・医・生化学

ニガウリ葉抽出物由来の Kuguacin J はヒト前立腺癌細胞株 LNCaP に
おいて細胞周期停止とアポトーシス誘導を引き起こす

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 曹 永晩, 高見成昭, 豊田武士, 小川久美子, 西川秋佳

マンガンの幼若期暴露による中枢神経発がん修飾作用

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 豊田武士, 山本昌美*, 高須伸二*, 時 亮*, 齋藤亜弓*, 立松正衛*, 小
川久美子, 西川秋佳, 塚本徹哉*

*愛知県がんセンター研究所

ヘリコバクター・ピロリ感染および高食塩食投与マウス胃腫瘍モデルに
よる遺伝子発現解析

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 藤井万紀子*¹, 豊田武士, 長田啓隆*¹, 矢田部恭*², 松平康枝*¹, 村上秀
樹*¹, 近藤豊*¹, 樋田豊明*², 関戸好孝*¹

*¹愛知県がんセンター研究所, *²愛知県がんセンター中央病院

悪性中皮腫細胞の増殖における TGF- β シグナルおよび YAP の協調的役割

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 曹 雪源*¹, 姜 晶*¹, 蔡 洪科*¹, 連 国棟*¹, 豊田武士, 立松正衛*², 塚
本徹哉*³

*¹中国吉林大学第一病院, *²日本バイオアッセイ, *³三重大学

18 β -Glycyrrhetic acid は MIP-1 α と NF- κ B の抑制によりスナネズ
ミ *H. pylori* 感染胃炎を軽減する

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 山田貴宣*, 魏 民*, 豊田武士, 金川明裕*, 仲谷慎也*, 陳 慶義*, 鰐淵
英機*

*大阪市立大学

ラファノブラシカにおけるピロリ菌感染胃炎の修飾作用

第 69 回日本癌学会学術総会 (2010.09) (大阪市)

- 吉田 緑, 坂本洋平, 井上 薫, 高橋美和, 武田賢和, 蒲生俊恵*, 小澤
正吾*, 西川秋佳

*岩手医科大学

Involvement of constitutive androstane receptor(CAR)in

chemical-induced liver hypertrophy and carcinogenicity in mice(マ
ウスの化学物質誘発肝肥大および肝発がんにおける constitutive
androstane receptor (CAR) の関与)

第 8 回 European Congress of Toxicologic Pathology(2010.9)

(Budapest)

(変異遺伝部)

- 山田雅巳, 清水雅富*¹, 片渕 淳, 藤井慎吾*², 碓井之雄*¹, Robert P.

Fuchs*2, 能美健彦

*1 東京医療保健大学, *2 フランス国立研究機構

大腸菌において 8-oxo-dG が誘発する A から C へのトランスバージョン
に關与する DNA ポリメラーゼ

日本遺伝学会第 82 回大会(2010.9) (札幌市)

- 豊田尚美, 安井由美子*1, 増村健一, 村松美那, 田中卓二*1,2, 能美健彦
*1 金沢医科大学, *2 東海細胞研究所

gpt delta transgenic rat における化学発がんに対するカプサイシン
とシリマリンの化学予防効果

日本癌学会第 69 回大会(2010.9) (大阪市)

- Yamada, M., Matsui, K., Takamune, M., Katafuchi, A., Nohmi, T.
**Sensitive detection of oxidative damages using BER-deficient Ames
tester strains** (塩基除去修復系欠損エームス試験菌株を用いた酸化損
傷の高感度検出)

European Environmental Mutagen Society 2010, (2010. 9) Oslo,
Norway

- Honma, M., Horibata, K., Takahashi, T.*, Asada, S.*, Hara, T.*,
Nakagawa, Y.*, Ikeda, A.*, Yamakage, K.*, Hirose, A.
*食品薬品安全センター秦野研究所

***In vitro* chromosome aberration and cell transformation tests on
fullerren and multi-wall carbon nanotubes** (フラーレンと多層カーボ
ンなのチューブについてのインビトロ染色体異常試験および細胞増殖
テスト)

European Environmental Mutagen Society 2010, (2010. 9) Oslo,
Norway

- Honma, M.
Novel approach for *in vitro* genotoxicity assessment (*in vitro* 遺伝
毒性評価の新しいアプローチ)

Novel Approaches in preclinical safety evaluation: Development and
progress (2010.9), Beijing, China

- Toyoda-Hokaiwado, N., Yasui, Y.*1, Muramatsu, M.*2, Masumura,
K., Takamune, M., Yamada, M., Ohta, T.*2, Tanaka, T.*3, Nohmi, T.
*1 金沢医科大学, *2 東京薬科大学, *3 東海細胞研究所

**Chemopreventive effects of silymarin, a plant constituent, against
the carcinogenicity of dimethylhydrazine plus dextran sodium
sulfate in the colon of *gpt delta* transgenic rats** (トランスジェニック
マウス *gpt delta* 大腸における植物成分シリマリンの抗変異抗発がん効
果について)

International Conference on Mechanisms of Antimutagens and
Anticarcinogens (2010. 9) Guarujá, Brazil

(総合評価室)

- 鎌田栄一
化審法改正とその安全性評価について
安全性試験受託研究機関協議会年会
東京都千代田区 (アルカディア市ヶ谷), 2010. 7

6. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(薬品部)

- 加藤くみ子 川西 徹
EMA 1st International Workshop on Nanomedicines (欧州医薬品庁主催
ナノメディシンに関する第 1 回国際ワークショップ)
ロンドン、2010 年 9 月 2~3 日
近年、ナノテクノロジーを応用した医薬品 (ナノメディシン) 開発の活発

化を背景に、欧州医薬品庁が主催する第1回国際ワークショップが開催された。大学関係者からの科学的な知見、各地域における規制状況について発表・議論がなされた。今後もグローバルレベルで情報や専門知識の蓄積を行っていくことで意見が一致した。

(医療機器部)

- 中岡竜介
ISO/TC 150 "Implants for surgery" plenary meeting and SC 7 "Tissue engineered medical products" meeting (国際標準化機構/技術委員会 150 「外科用インプラント」総会及び分科委員会 7 「再生医療機器」会議)
オーランド, FL (米国), 2010年9月13日～17日
米国オーランドで行われた ISO/TC 150 総会及び SC 7 会議に出席し、外科用インプラントに関する標準化文書作成討議に参加した。特に、SC 7 には国際幹事として参加し、会議準備や当該文書が有益になるよう内容を吟味・討議する作業に参加した、また、参加各国の積極的な討議参加を促した。

(食品部)

- 坂井隆敏
THE 19th SESSION OF THE CODEX COMMITTEE ON RESIDUES OF VETERINARY DRUGS IN FOOD (第19回コーデックス委員会残留動物用医薬品部会)
バーリントン, VT (米国), 平成22年8月29日～9月3日
動物用医薬品に関して、登録に係る技術的要件の調和、最大残留基準値 (MRL) の検討、分析法に関する性能特性、JECFA による優先的な評価及び再評価を要する動物用医薬品、ADI の設定及び MRL 提案に係る現行プロセスに関連して考慮される要因、ADI 及び MRL を設定していない動物用医薬品のリスク管理などについて議論した。

(毒性部)

- 高橋祐次
EPAA Workshop on acute toxicity testing across sectors (欧州動物実験代替法パートナーシップ 急性毒性試験に関する部門横断的ワークショップ)
ブラッセル (ベルギー), 2010年9月16日
動物の死をエンドポイントとした急性毒性試験の必要性とその科学的根拠、急性経皮投与毒性試験を規制上要求される項目から削除することの可否について。

(病理部)

- 吉田 緑
The Joint Meeting of Pesticides and Residue 2010 (JMPR 2010) 農薬および作物残留に関する国連食糧農業機関/世界保健機構合同会議 2010年ローマ, 2010年9月21日～9月30日
JMPR 2010 の世界保健機構側の毒性専門家として農薬リスク評価に参加し、新規評価8剤、定期的な再評価3剤計11剤の農薬の毒性についてリスク評価を行い、1日許容摂取量(ADI)および急性参照用量(Acute reference dose, ARfD)の設定を行った。